

穂穂北に輝く にぎりめし



令和4年度穂北中学校だより

12月号

穂北中HP

校長

伊東 泰彦



私たちも成長しています！本校7年生の活躍！

10月28日、穂北小と茶臼原小の6年生及び保護者の方を対象にした新入生説明会を実施しました。説明会では、職員のみならず、保護者の皆様も説明を極力短くし、できるだけ生徒の言葉で中学校を紹介

介してもらいました。中でも今回がんばったのは中学一年生です。トークフォークダンスというスタイルのコミュニケーション方法で「中学校の一日」「教科担任制」「テスト」主

な行事「さいと学」の5つの内容を説明。小学生たちはフォークダンスのように一つずつ動きながら5つの内容に対して形式で聞いていきました。また、さいと学の時間に

は、あるお題について対話をしながら思考を深める「哲学対話」にも挑戦しました。このような取組を通し、考えたことをアウトプットしていく力を伸ばしつつあります。



中1生徒が小6児童へ中学校の説明・トークフォークダンス



▲新入生説明会で6年生と行った「トークフォークダンス」

さいと学の研究授業で行った「哲学対話」▼



哲学対話のようす

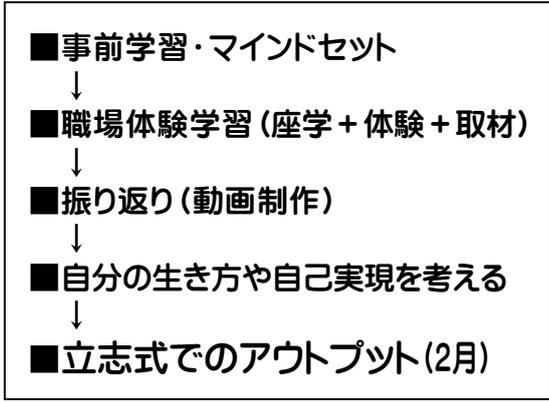


振り返りとシェアリング



地域との協働①・職場体験学習(2年)

穂北中の「探究型職場体験学習」



11月10日に二年ぶりの職場体験学習を実施しました。今年も、職場体験を「探究」型にリニューアル。穂北地域ならではの事業所を訪問し、地域活性化を兼ねた経営戦略や西都で暮らし働く魅力を経営者の方に取材したり講話を聞いた。その後、体験を行います。体験をする中で、各事業所の魅力や特色ある光景を写真に収めていきます。

コロナの関係もあり、体験は一日のみですが、翌日は一日かけてじっくりと体験で学んだことの振り返りを行います。各事業所での学びを二つの動画にまとめる作業を行いました。この動画は二月の立志式で発表する予定にしていますので、楽しみにしてください。



うなぎの入船



大野屋いちご農園



橋口ピーマン農園



有田牧場・直販所



妻湯



池水製材所

心に残った言葉

- ・すべてに答えがあるわけではない!
- ・昔と変わらないことをするのは難しいが、努力を続けるのが大切!
- ・何事にも挑戦する!
- ・「継続は力なり」

感想

- ・僕もこんな農業をやりたいと思った。就農したい!
- ・従業員のチームワークの素晴らしさ、これこそが人気の秘密なのでは!

妻高校との協働・福祉体験学習（1年）

11月10日、妻高校の福祉科を訪問させていただきました。福祉体験学習を行いました。一学期に石井十次の学習で学んだ「福祉の精神が実際の仕事にどう生かされているのか」「福祉の仕事の意義とは何か」といった問いをもって生徒たちは



とっても親切で頼もしい、妻高福祉科の先輩方



妻高校を訪問しました。福祉科の高校生たちは実にしつかりしていてとても親切なのに感動した一年生。福祉科の先生方のご指導の素晴らしいにも触れることができ、たくさん生徒が「福祉の仕事」に対する認識を深めていきました。素晴らしい体験学習でした！



福祉の意義や仕事のやりがいなどを体感させていただきました！



地域との協働・校外学習（3年）

一年生の福祉体験、二年生の職場体験に合わせ、三年生も受験勉強の合間をぬって校外学習を行いました。地域産業の特色や現状と課題を学ぶため、高鍋町のルピナスパークと西都市の産業技術専門学校を訪れました。日頃はまじめな三年生ですが、この日は思いっきり楽しんでくれたようでした。



本県農業の魅力を学びながらピザづくり



産業技術専門学校での学習

穂波の壽き田の里

穂北神楽考

先日、穂北神社の例大祭に参

加させてただく機会を得た。それまで道路沿いの外観しか見たことがなかったから、境内の立派さや気の清々しさにとっても驚いた。主祭神は盤長姫だがその他にも伊邪那岐、伊邪那美、猿田彦など複数の神々が祀られているので、西都市史を紐解いてみたところ、明治七年に穂北郷十二社が合祀されたとのことである▼例大祭の日は、昼過ぎから深夜までの半夜神楽が奉納されているが、神への奉納を第一とする穂北神楽は、「穂北神社」11月15日、南方神社同月18日」という固定日開催の伝統が貫かれている。本校の2年生にも穂北神楽伶人会に属する舞手がいるので(下写真右)、ほんの一部分だが神楽も見せていただいた。穂北神楽の神庭(神楽を舞う舞台)は高千穂などの他地区とは異なり、周囲に竹が巡らされて境界となし、参観者はその外側から拝観する独特の形式となっている(下写真左中)。宮司さんの話では、稲穂の里・穂北らしく「米蔵」を模した作りでもあるようだ▼和太鼓のリズムに乗って笛と鉦の音色が聞こえてくると、何とも言えない高揚感を覚えるが、これは太古から親しんできた「祭り」の記憶が我々現代人のDNAにも継承されているからなのだろう。どの地域でも、伝統文化の継承者不足が課題となっている中、穂北神楽では、中学生と小学生の兄弟が、四方鬼神や二人剣などの番付を堂々と舞っていて頼もしかった。また、「神奈喜」という番付で巫女舞を舞っていた小学生の姿にも驚いた。まだ低学年らしく見受けたが、その所作は目を見張るばかりに優雅で美しく気品に溢れていた。こうした貴重な文化が次世代にも継承されている穂北地区の素晴らしさを改めて実感する日となりました。(校長 伊東泰彦)



独特の神庭



生徒の力で学校生活を充実させる取組！

本校では、生徒会の学習委員会と生活委員会に特色ある活動があります。学習委員会では、定期テストの対策問題を生徒自身が作成し、問題と併せ解答を配付しています。アメリカの国立訓練研究所がまとめた「ラーニングピラミッド」によると、講義形式の学びだと定着率が5%しかないのでに対し、教え合いだと定着率が90%に上がるという結果がありますが、生徒たちの取組はまさに教え合いのスタイルに近いものです。成果が上がって欲しいと期待しています。

一方、生活委員会では、昨年度から学校を彩る花を自分たちで育てる取組がスタートしています。今年の下半期もパンジーやスノーポールなどを計画的に植え、学校のシンボルツリーであるフェニックスの周囲に配置してくれました。この花は、卒業式や入学式の式場を彩ることにもなります。自分たちの学校を自分たちの手で美しくする…。こうした伝統はぜひ継承して欲しいと思います。

【12月・1月の主な行事】

12月

- 1・2日…みやざき学力・学習状況調査
- 15日…校内ロードレース大会
- 16日…家庭教育学級(生け花)
- 19日…しめ縄づくり
- 23日…終業式(26日～冬休み)
- 26日…オール西都第二回校則検討委員会

1月

- 6日…始業式
- 6・7日…五教科グランプリ
- 11・12日…実力テスト



今年も生徒たちの手で花づくりが始まりました！

